

令和7年

第2回防府市議会定例会

一般質問

6月19日（6人）

1 中谷 哲・2 梅本 洋平・3 河村 孝・4 山田 耕治
5 上野 忠彦・6 曾我 好則

6月20日（6人）

7 石田 卓成・8 宮元 照美・9 松村 学・10 宇多村 史朗
11 藤本 真未・12 生野 美輪

6月23日（6人）

13 重田 直輝・14 村木 正弘・15 原田 典子・16 和田 敏明
17 三原 昭治・18 田中 健次

No.	1	中谷 哲	
質 問 事 項			要 旨
1	2050年の森整備について		<p>大平山公園では、昨年度から3ヶ年かけて遊具の整備を進めている。今後、大平山の整備をどのようにすすめるのか伺う。</p>
2	新入学児童用かばん支給事業について		<p>市では、こどもたちのためにほうふっ子応援パッケージとして、様々な取組をされている。その中でも、新入学児童用かばん支給事業は、こどもたちの安全安心のために大事な事業と思うが、今後の取組について伺う。</p>

No.	2	梅本 洋平		
質 問 事 項			要 旨	
1	防府市開発審査会の運用開始に伴う地域開発の在り方について		<p>市街化調整区域における災害想定区域の開発規制について、防府市開発審査会設置に伴う市の対応を伺う。</p>	
2	高齢者の社会参加と介護予防の推進について		<p>高齢者の社会参加と介護予防の推進に向け、会派で視察した稲城市の「介護支援ボランティア制度」の事例を紹介した上で、防府市としての今後の取組と制度導入の可能性について伺う。</p>	

No.	3	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1	U J I ターンについて		<p>市内の中小企業は、人手不足が深刻化している。「求人を出しても、全然応募が来ない」等、慢性化している状況がある。大都市圏からのU J I ターンは、この課題を解決するための重要な鍵のひとつとなる。現在の取り組み状況と、また、今後、次期総合計画では、どのように推進するのか、ご所見をお伺いする。</p> <p>(1) U J I ターン希望者の相談について</p> <p>(2) 本市と市内の中小企業のP Rについて</p> <p>(3) 奨学金返済支援制度について</p>
2	ベンチのあるまちづくりについて		<p>ウォーキング途中の休憩、店先、バス停近くなどで「ちょっと腰を下ろしたい」という声が多い。ベンチが市内の適所にあると、健康増進や介護予防、観光客の疲労回復だけでなく、景観をじっくり楽しむ機会を提供し、快適な滞在時間の提供に繋げることができる。</p> <p>本市が「ベンチのあるまちづくり」を推進することは、単に休憩場所を増やすだけでなく、また魅力的なベンチを設置することで、市全体の魅力を大きく向上させると考えます。まずは、市民に身近な市道への設置を拡充してはと考えるが、ご所見をお伺いする。</p>
3	学校の安全対策について		<p>学校の安全対策は、児童生徒が安心して学校生活を送り、健やかに成長するために不可欠である。最近の事件から、不審者対策が注目されている。ハード面では、敷地内への侵入禁止のフェンスや門の施錠管理、防犯カメラの強化、ソフト面では、危機管理マニュアルによる訓練の実施などが考えられる。</p> <p>学校の安全対策について、ご所見をお伺いする。</p>

No.	4	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 高齢者に優しいまちづくりについて</p>	<p>(1) 高齢化が進む中で高齢者に対する支援策を見直し、改善していくことが重要と考えるが、社会参加の推進や経済的支援等、市として具体的にどのようにお考えか？</p> <p>(2) 市の高齢者支援は「住み慣れた地域でいつまでも普通に暮らせる幸せの提供」を目標に「短期集中予防型サービス」を中心としたサービス体系で実施していますが、今後の課題は？</p> <p>(3) 高齢者が安心して利用できるよう、地域の交通機関や自治体が協力してサポートすることが求められる中、交通系ＩＣの導入・利用状況は？</p> <p>(4) 高齢者が安心して暮らせるように、市の環境やサービスを高齢者に配慮した形で整備することを目指すエイジフレンドリーシティ（Age-friendly City）宣言をしては？</p>		
<p>2 防災について</p>	<p>(1) 南海トラフ巨大地震に対し、２０２４年に被害想定の見直しを公表。全国の最大想定死者数は、２５，０００人と減っていますが、県内では３００人増の５００人と想定している。新たな防災活動の推進は？</p> <p>(2) 佐波川水系に対し、「特定都市河川」への指定に向けた準備を進めていると聞くが状況は？</p> <p>(3) こども達への防災教育について</p>		

No.	5	上野 忠彦
質問事項		要 旨
1	下水道等のインフラ施設の老朽化対策について	<p>下水道等のインフラ施設には下水道管以外にも汚水処理施設である「防府浄化センター」や送水施設である「ポンプ場」といった重要な施設がある。これらの施設の老朽化対策について、今後どのように進められるのか伺う。</p> <p>また、「防府浄化センター」の近くには、類似の施設として、「し尿処理施設」があるが、こちらの施設の老朽化対策についても併せて伺う。</p>

No.	6	曾我 好則
質問事項		要 旨
1	米国の関税措置の影響と対応について	<p>米国の関税措置が発動されており、市内企業への影響が懸念されている。 市としての対応とこれからの対策について伺う。</p>
2	地方創生について	<p>国は、都市も地方も楽しく、安心・安全に暮らせる持続可能な社会を創っていく必要があるとして、地方創生を進めている。 現在、本市は次期総合計画を策定中であるが、次期計画における地方創生への取組について、ご所見を伺う。</p>

No.	7	石田 卓成		
質 問 事 項			要 旨	
1	ゲゼルに学べ！腐るお金？ 減価する通貨で蘇る地域経済循環について		<p>(1) 本市の経済は、基幹産業である自動車産業に大きく依存しており、近年の米国の高関税政策のような予測不能な海外情勢により、深刻な影響を受けやすい脆弱な構造にあると認識しております。このような外部からの衝撃に直面する本市の経済構造について、市長はどのような現状認識をお持ちでしょうか。</p> <p>(2) 外部環境に左右されない強靱な内需を育むため、お金の貯蓄を抑制し、地域内での消費や投資を促すことを目的とした「減価する地域通貨」という政策ツールがあります。歴史的にはオーストリアのヴェルグルで成功事例があります。近年では、ドイツのキームガウアーで2003年に開始され、現在も取り組みが続いており、ユーロの3倍の流通速度となることが証明されております。また、国内では総務省の実証実験で、その有効性が確認されております。この「減価する地域通貨」が本市の未来を切り拓く新たな一手となり得る可能性について、市長はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) 提案する「減価する地域通貨」は、技術的に実現可能であり、総務省による実証実験でもその有効性が示されておりますことから、本市においても導入の可能性と課題を検証する具体的な行動を起こすべき段階にあると考えます。そこで、具体的な第一歩として、市が主導し、地域銀行や商工会議所、専門家と連携して研究会を立ち上げ、将来的な社会実験の実施も視野に入れた検討を進めていただきたいと思います。市長のご決断を伺います。</p>	

No.	8	宮元 照美
質問事項		要 旨
1 米の生産について	<p>市民の方から、安心してお米が食べられるかどうか、という不安な声を多くいただいている。</p> <p>防府市では、米の安定供給のために、どのような施策を行っているか伺う。</p>	

No.	9	松村 学	
質 問 事 項			要 旨
1	8050問題に直結する近年増加するひきこもり支援の在り方について		<p>8050問題とは80歳の親が50歳の子の生活を支えるため、強い経済負担や精神的苦痛を受けることで、最近では9060問題という言葉も出てきました。この原因となっているのが、社会と自分を隔離し続け、若い頃からひきこもりになることです。酷くなれば、暴力化し、否定、孤立、孤独の結果、川崎市や東京都練馬区の殺人事件など引き起こしています。厚生労働省の発表では15歳から64歳までのひきこもり人数は全国で146万人、防府市でも1,300人程度、併せて小中学校の不登校児童もひきこもりや予備軍であり、小学校117人、中学校221人程度となっています。私の周りでもこどもがひきこもりになって、社会復帰させたい、学校に行かせたいけど、言えばプレッシャーになり、余計酷くなってどうすればよいか分からないなど多数の市民から問い合わせがあります。これに対して、厚生労働省も支援を強化すべく、都道府県、政令指定都市に設置していたひきこもり支援センターを令和4年度より市町村を設置主体とし、段階的に充実すべきとしています。さらにその整備に対し、重層的支援体制整備事業を実施していない場合は補助率1/2で1,000万円を基本額とし、任意事業の取組みに加算額1事業50万~300万円と手厚くなっています。また相談員も私の調査や視察の中で、複雑な判断と対応が必須なので、経験と知識、実績のある方でないと困難であり、周辺市で実施されているよう次の段階の支援センターやステーション事業を早期に実施して頂きたいが、市当局のご所見を伺います。</p>

No.	10	宇多村 史朗
質問事項		要 旨
1	介護保険制度による支援を補完する老人福祉法に基づく高齢者支援と地域共生社会の実現について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 老人福祉法における高齢者支援の現状と認識について (2) 養護老人ホームの潜在入所資格者の掘り起こしと周知について (3) 地域包括ケアシステムの深化と地域共生社会の実現に向けて
2	集落支援員の導入について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域コミュニティの維持、活性化に向けた市のこれまでの取り組みについて伺う。 (2) 国の制度を活用して集落支援員を導入しては如何か。

No.	1 1	藤本 真未	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 防府市における水辺の活用方針について</p> <p>2 スポーツセンター野球場について</p>	<p>防府市内には、豊かな自然環境があり、特に佐波川は防府の中心を流れ、市民の憩いの場、レクリエーションの場として大きな可能性を秘めています。</p> <p>近年、猛暑日が続く中で、こどもたちが安全に水遊びを楽しめる場所へのニーズが高まっている上で本市の水辺環境について伺う。</p> <p>昨年リニューアルオープンし、利用環境が大きく改善され、多くの市民や学生、社会人チーム等に利用されているスポーツセンター内の野球場の安全性の確保と利用機会の拡大の観点からいくつかの課題が残されています。</p> <p>ファウルボールやホームランによる事故防止のためのフェンス増設は安全確保に不可欠です。</p> <p>またナイター設備の導入により、仕事や学校終わりの時間帯でも利用が可能となり、利用者の幅が広がるとともに稼働率の向上も期待されると想定しますが、野球場としての利便性・安全性をより高め、市民のスポーツ環境の充実を図る市のお考えを伺う。</p>		

No.	1 2	生野 美輪
質 問 事 項		要 旨
1	切れ目のない子育て支援の更なる推進について	<p>本市では、こども家庭センターがオープンし、1歳児健診の無償化など、子育て支援が前進しています。これらを足がかりに、今後さらに切れ目のない支援を推進していくための、今後の本市の取組についてお伺いします。</p> <p>(1) こども家庭庁は、今年度から令和10年度までに5歳児健診の実施率を100%にするという目標を掲げています。この国の方針を受け、本市では5歳児健診をどのように実施されるご予定でしょうか。ご所見をお伺いします。</p> <p>(2) 災害時の避難所における妊産婦、及び乳幼児のいるご家庭への対策について、お伺いします。</p>
2	超・高齢社会における高齢者福祉について	<p>今年は団塊の世代が75歳以上になり、総人口の約5人に1人が後期高齢者という、超・高齢社会を迎え、健康寿命の延伸が重要になります。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、介護予防や高齢者の社会参加活動の在り方も常に変化に対応し、進化することが必要です。</p> <p>(1) 閉じこもりを防ぎ、地域とのつながりを育む、独居や高齢者のみの世帯への支援についてお伺いします。</p> <p>(2) 質の高い介護を支えるための、介護人材の確保と育成の支援策についてお伺いします。</p>
3	雨水・内水対策について	<p>本市では、佐波川右岸の広域防災広場や、文化福祉会館跡地の防災広場の整備、また国・県・市が一体となっていく浚せつなどの防災の取組が進んでいると感じられます。しかしながら、道路や自宅前の冠水が頻繁に起こる地域もあり、本格的な梅雨や台風シーズンを前に不安に思われています。昨年度作成予定であった、雨水管理総合計画はどのような状況でしょうか。また、本市の雨水対策についてお伺いします。</p>

No.	13	重田 直輝	
質問事項			要 旨
1	広域防災広場や県立総合医療センター等の整備を契機とした地域の土地利用とまちづくりの方向性について		<p>(1) 排水対策の強化とその対応について 広域防災広場や医療センターの整備に伴う土地の造成や嵩上げによって、地域の排水能力に新たな負荷がかかる可能性がある。市としてこの影響をどのように認識し、対応を想定しているのか伺う。</p> <p>(2) 農用地域と民間商業施設の立地に関する市の考え方について 当該地域が農用地域に指定されている中で、医療センターの整備を契機に、周辺に民間のドラッグストアやコンビニ等の商業施設が求められる状況が想定されるが、これら民間施設の立地について、市としてどのように考えているのかを問う。</p> <p>(3) 広域防災広場の地域拠点化に向けた整備方針について 広域防災広場が災害時の拠点機能に加え、平時には地域住民が集い憩う場となるよう、遊具、休憩や飲食スペース等の整備を含む空間づくりをどのように進めていくのか伺う。</p>

No.	14	村木 正弘	
質問事項			要 旨
1	中山間地域等の振興について		<p>中山間地域等では、豊かな自然や文化があり、あたたかな人の交流がある。しかし、超高齢化や人口減少は急速であり、空き家が増加し、生活の維持も困難になってきている現状がある。</p> <p>交流人口の増加、買い物弱者、地域コミュニティの活性化など課題は多く、中山間地域等の方々が、持続可能で、安心して住み続けられるための対策が必要と考える。第6次総合計画に向けて、ご所見をお伺いする。</p>
2	安全・安心なまちづくりについて		<p>市内において、SNSを通じた投資目的の詐欺、ロマンス詐欺、警察を名乗る詐欺など、詐欺事件が続出している。また、闇バイトなどの凶悪犯罪が連日報道され、市民にも不安の声が多い。このような犯罪から市民を守るような安全・安心なまちづくりが求められている。第6次総合計画に向けて、今後の取組について、ご所見をお伺いする。</p>
3	子どもたちに夢と希望を与えるプロジェクトについて		<p>スポーツの未来を担う子どもたちや指導者にとって、プロやトップレベルのスポーツ選手との直接的な交流は、技術向上だけでなく、夢と希望を与える大きなプロジェクトとなる。</p> <p>実際にプロやトップレベルの選手の動きを見たり、話を聞いたり、時には触れ合う機会を持つことは、スポーツへの情熱を育み、指導者にとっても、指導のヒントを得る貴重な経験となる。</p> <p>「スポーツのまち防府」の未来を担う子どもたちとトップアスリートとの交流について市の取組をお伺いする。</p>

No.	15	原田 典子		
質問事項			要 旨	
1	加齢性難聴者への補聴器購入助成制度について		<p>高齢者の社会参加や健康寿命の延伸、孤立防止の観点からも自治体が積極的に補聴器購入の助成を行う意義は大きいと考える。</p> <p>(1) 市として40デシベル前後の加齢性、難聴の高齢者が抱える問題、課題についてどのような認識を持っているか。</p> <p>(2) 市内における65歳以上の高齢者のうち、中等度の難聴の該当者数を把握しているか。</p> <p>(3) 本市において加齢性難聴者への補聴器購入助成制度を導入する考えは。</p>	
2	用水路の安全対策について		<p>先月市内で用水路に転落し、命を落とす痛ましい事故が起こっている。特に夜間や雨天時、また歩道と用水路の間に柵等がない場所では、転倒リスクが高まっている。市民の命を守ると言う観点からこの問題にしっかり向き合う必要があると考える。</p> <p>現在、市内の用水路における安全対策の実施状況はどのようになっているか伺う。</p>	
3	平和に関する取り組みについて		<p>本年は被爆80年の節目である。そこで、本市の平和に関する取り組みについてを問う。</p>	

No.	16	和田 敏明
質問事項		要 旨
1 火災について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 林野火災及び野焼き火災等のリスクレベルについて (2) 野焼きに関する苦情・相談の件数や内容、住民トラブルへの対応について (3) 農業関係者との連携や、代替処理方法の普及について (4) 監視体制について (5) 火災予防啓発活動（内容、対象、手法）について (6) 今後の対策について 	
2 公共施設のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の利用について <ul style="list-style-type: none"> ア. 施設利用の優先順位について イ. 施設の予約について ウ. 地域クラブの施設利用について (2) 維持管理について <ul style="list-style-type: none"> ア. 施設の維持管理について 	

No.	17	三原 昭治	
質 問 事 項			要 旨
1	小中学校における防犯体制・対策について		<p>こどもたちにとり、安全で安心の居場所であるべき学校において、去る5月8日には、東京都立川市の小学校で、男2人が学校内に侵入して暴れ、教職員5人がけがをする事件がありました。幸い、こどもたちに身体的被害はありませんでしたが、こどもたちは心に大きな痛手を受けました。このように近年、学校に不審者が侵入する事件が全国的に発生しているが、防府市における小中学校の防犯体制、対策と課題についての取り組みをお尋ねします。</p>
2	市指定ごみ袋のレジ袋利用について		<p>二酸化炭素（CO₂）排出量をゼロにする「脱炭素社会」を目指し、防府市では「CO₂削減ほうふ市民運動」を展開しています。その一環として昨年、レジ袋の代わりに、市指定ごみ袋を販売する試行実施を行いました。私は、この指定ごみ袋のレジ袋利用について、令和4年に一般質問で提案しましたが「一歩前進」と思っています。試行実施の実績、検証結果と今後、さらに積極的に取り組むべきと思いますが、考えをお尋ねします。</p>

No.	18	田中 健次	
質問事項			要 旨
1	重要土地等調査法の区域指定について		<p>(1) 5月1日から防府北基地を中心とした周囲おおむね1000メートルの区域が、特別注視区域に変更されたが、市はどのような対応をされているのか。</p> <p>(2) 区域指定や変更にあたり、国から資料の提供、意見の開陳、その他の協力を求められたのか。</p> <p>(3) 身近な行政組織である市として、市民の相談窓口を設置すべきではないか。</p>
2	地域クラブ活動について		<p>(1) 4月以降に立ち上げがすすんでいるか、現時点での課題、成果について、どう考えているか。</p> <p>(2) 長門市では、部活動改革として、市が運営する地域クラブ「NAGATOスポーツ・カルチャークラブ（Nクラ）」を設置され、会費は月1000円、就学援助世帯は半額と報道されている。 防府市も参考にし、来年度の運営に良い点など取り入れることが必要になるのではないか。</p>
3	高齢者等バス・タクシー運賃助成制度について		<p>現在の制度では、運転免許を持っていないことが要件となっているが、周南市では、住民登録のある75歳以上の方に助成券、山口市では、70歳以上の方に、路線バス1乗車100円で利用できるバス乗車証を交付しており、防府市も運転免許の返納等の要件を外すべきではないか。</p>
4	道路関係補助等の要件について		<p>「当該道路の沿線に土地・建物ともに5戸以上の所有者がある」ものが、補助等の対象になっているものが多いが、人口減、空き家増でもあり、この要件を緩和すべきではないか。</p>